

チーム制と複数担任制の導入による時間の余剰時間の生み出しと運用
関ヶ原町立関ヶ原中学校

1. 目標

- ・月の時間外勤務45時間以内の設定によるマネジメント力の向上
- ・提案資料の一元化とデジタル化による業務のスリム化
- ・チーム制による指導の焦点化と会議のスリム化
- ・複数担任制の導入による心理的・物理的な負担減
- ・誰もが安心して業務を進められる安心感ある職場づくり

2. 実践の内容

- ・年間の全提案を年度初めに一括提案（関中の教育としてデータ化）し、業務と提案のスリム化を図る。
- ・関中の教育をもとに2ヶ月スパンの職員会で指導を再確認し、チーム表に改善策を集約し実践に活かす。
- ・複数担任制（2学級を3人で担当 一週間交替）により、空き時間を増加させ、勤務時間内の教材研究の時間を確保する。
- ・複数担任制の導入による、チーム体制の生徒指導による指導の精神的負担の軽減
- ・積極的な年休取得の働きかけと、相互理解を基本とした明るく居心地の良い職員室運営に努める。

3. 評価結果

- ・45時間内の目標について、4月から12月の9ヶ月のうち7ヶ月で達成。
- ・担任の週の空き時間の平均10.3時間、一日平均2.1時間を達成
- ・会議のため資料作成や準備時間が、三分の一程度に軽減。
- ・年間の年休取得者の5日以下はなし。ほぼ全員が15日以上年休を取得。
- ・学年主任を中心に、生徒について語り合う場面が増加した。

4. 成果と課題

(1) 成果

- ・職員が一番時間を費やしたいと考える教材研究の時間の充実が進んだ。
- ・複数担任制を通して、チームで生徒の成長を見守ることができたと共に若手を中心とした指導に対する精神的な負担が軽減した。
- ・失敗を恐れず、自身の校務分掌に取り組む姿が増えた。

(2) 課題

- ・複数担任制のあり方について、多面的に検証、改善する必要がある。
- ・複数担任制の利点を生かし、さらに生徒との継続的で深い関わりを生み出したい。
- ・空き時間を有効に活用する個々のマネジメント力を更に向上させたい。